

明るい選挙啓発授業展開例（給食連動型）

1 目標

- ・講義やクイズを通して、選挙の意義やしくみを知る。
- ・身近なテーマで模擬投票を体験することで、選挙や投票について関心を高める。
- ・当選した給食メニューが提供されることで、選挙の結果が実際の生活に直結していることを学ぶ。

（注）実際の提供に当たっては、市町村教育委員会と調整が必要です。

- ・投票方法の流れと投票する時に気をつけることを理解する。

2 展開例（45分の場合）

	学習活動	備 考	担 当
導入 5分	1 あいさつ 2 クイズ 3 学習課題の確認	・あいさつ後、自己紹介 ・クイズを通じて授業への関心を高める。	選管担当者
講義 15分	4 政治のはたらきと選挙 5 なぜ「代表者」を選ぶのか 6 選挙クイズ	・選挙にかかる費用、日本、海外の選挙制度について触れる。	
模擬投票 15分	7 導入 ・代表者を選ぶときの考え方について ・投票所でやってはいけないことについて 8 模擬投票 ・投票するメニューを決める ・投票が終わり次第、教室へ戻り選挙クイズに参加する 9 開票作業を実施し投票結果を知る。	・給食メニューについて模擬投票を行う。 例：エビフライ、ハンバーグ、カレーなど ※実際の提供に当たっては、事前に市町村教育委員会等と調整が必要です。 進行は市町村選管が中心となって行う。 ・担任は児童の誘導を行う。 ・全員が投票を終えるまで選挙クイズを実施する。 ・市町村選管等が開票作業を実演する。 ・投票結果は児童代表者が発表する。	市町村選管担当者 (選管準備物) ・投票所入場券 ・投票用紙 ・記載台 ・投票箱 (その他) ・受付〇名 ・投票立会人〇名 ・開票作業〇名
まとめ 10分	10 まとめ 11 アンケートに記入し、感想を発表しあい活動を振り返る。	・児童の投票態度について評価する。 ・投票率低下、国民の権利等に触れながら一票の重要性について考えさせる。 ・活動を振り返らせながら、投票への関心の高まり及び投票方法の理解の度合いについて確認する。	選管担当者 担任 ・アンケート用紙の回収